

坂出市立病院基本構想・基本計画(素案)に関するパブリックコメントの実施結果

平成22年2月25日から3月24日までの1か月間、坂出市立病院基本構想・基本計画(素案)についてパブリックコメント(意見公募)を実施した結果、6名の方から11件の意見が寄せられました。ご意見をいただきありがとうございました。ご意見の内容(要約)とご意見に対する市の考え方を以下のとおりお示しします。

	ご意見(要約)	ご意見に対する市の考え方
建設場所・配置に関する事	移転先としては「中央小学校地」が最適である。正門の位置は、来院者の利便性や周辺商店街の活性化を考慮して、東の幹線道路側に設置するべきである。	「坂出市立病院のあり方有識者会議」による坂出市立病院基本構想・基本計画(素案)の中で、現中央小学校用地は有力な移転先候補地の一つとなっています。小学校の東の都市計画道路富士見町線につきましては、近々、県において都市計画の手続きに係る測量調査を行うことになっており、中央小学校に移転するとなれば、正門の位置については、今後、道路整備の計画を精査するとともに、交通の安全性・利便性、及び商店街の活性化を考慮する中で、十分に検討していきたいと考えています。
	幹線道路からの進入路及び駐車場については十分なスペースを確保してほしい。	病院建設にあたっては、進入路の安全性および駐車場スペースの確保については、自動車で来院される患者等の交通の安全性や利便性を考慮する中で、十分に検討し対応していきたいと考えています。
	移転先候補地の中央小学校の南西地域は、今後、東南海地震と同規模の地震による津波で浸水が予測されるため、防災上の観点から、病院の建築場所を変更し、西運河周辺の地域を再開発して建設するのがよいと思う。	東南海地震と同規模の地震による大きな津波が発生すれば、市街地の広範囲にわたり浸水が起こることが予想されます。中央小学校付近の排水対策については、今後、東の都市計画道路富士見町線の拡幅工事にあわせて、市防災関係部署と協議していきたいと考えています。
事業収支・経営に関する事	借入をせずに、自費で建設工事ができないのであれば、移転及び建て替えには反対であり、現状のままで良い。	坂出市立病院の建物について、耐震診断した結果、震度6強～震度7程度の「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い、又は危険性がある。」との評価内容であったため、早急に施設の耐震化を図る必要があると考えています。また、「坂出市立病院のあり方有識者会議」での意見を踏まえ、新築により病院の耐震化を図ることとしております。新病院建設に伴う資金計画については、投資の減価償却費が大きいため損益計算での黒字は難しいものの、起債の元利償還金の繰入を考慮した資金収支は、毎年黒字と想定しております。
	新病院建設には、多額の借入金が必要となり、市税の充当も予測されることから、今後とも病院経営に最大限努力されるようお願いいたします。	新病院建設に伴う資金計画については、投資の減価償却費が大きいため、損益計算での黒字は難しいものの、起債の元利償還金の繰入を考慮した資金収支は、毎年黒字と想定しております。今後とも自助努力により、健全な病院経営に努めていきたいと考えています。
	現在の病院運営状況から借入金の返済は可能なのか。	新病院建設の資金計画については、建設に伴う投資の減価償却費が大きいため、損益計算での黒字は難しいものの、元利償還金の繰入を考慮した資金収支は、毎年黒字と想定され、建設による借入金の返済は可能であると考えています。

	ご意見(要約)	ご意見に対する市の考え方
病院機能・部門に関する事	休日の売店営業を行ってほしい。	売店の営業については、現在委託している業者側の経営上の事情等も考慮する中で、休日は営業しておりませんが、今後、新病院においては、休日の営業についても検討していきたいと考えています。
	小学校の体育館用地を有効活用すべきである。	移転候補地の中央小学校の体育館については、現在、地域のスポーツやレクリエーション活動の拠点施設として利用されており、耐震補強工事も実施していることから、災害時における中央校区の避難場所として位置付けられています。今後、災害発生時に、多数の被災患者を収容する施設として、また、薬品・食糧等の備蓄施設として活用するなど、市関係部署と協議する中で検討していきたいと考えています。
その他	医師、看護師およびその他医療職員の確保対策を講じてほしい。	医師の確保対策については、全国的に医師不足の状況ではありますが、関係機関に対し、医師の招へいについて、これまで以上に積極的に要望していきたいと考えています。また、看護師およびその他の医療職員の確保対策については、年度当初の職員の採用募集に加えて、年度途中の随時募集についても鋭意取り組んでおります。さらに、今後、他市の状況も研究し、人員確保についてあらゆる方策を講じていきたいと考えています。
	病院の移転新築には賛成ですが、高齢化・核家族化が進む中、通院の手段として市内全域を巡回するマイクロバス等について検討してほしい。	現在、坂出市の地域公共交通のあり方について検討するため、「坂出市地域公共交通活性化協議会」を設置しています。市内巡回バス等による新病院への運行については、当協議会の考え方を踏まえ、今後、市関係部署と協議する中で研究していきたいと考えています。
	市内の民間病院と競合して不利になることはないのか。	市内の他の民間病院との関係については、競合するのではなく、他の病院および診療所との連携を積極的に図ることによって質の高い医療を確保することが重要であると考えています。一方、へき地医療や救急医療など不採算部門に関わる医療を提供することも公立病院として果たすべき役割の一つであると考えています。